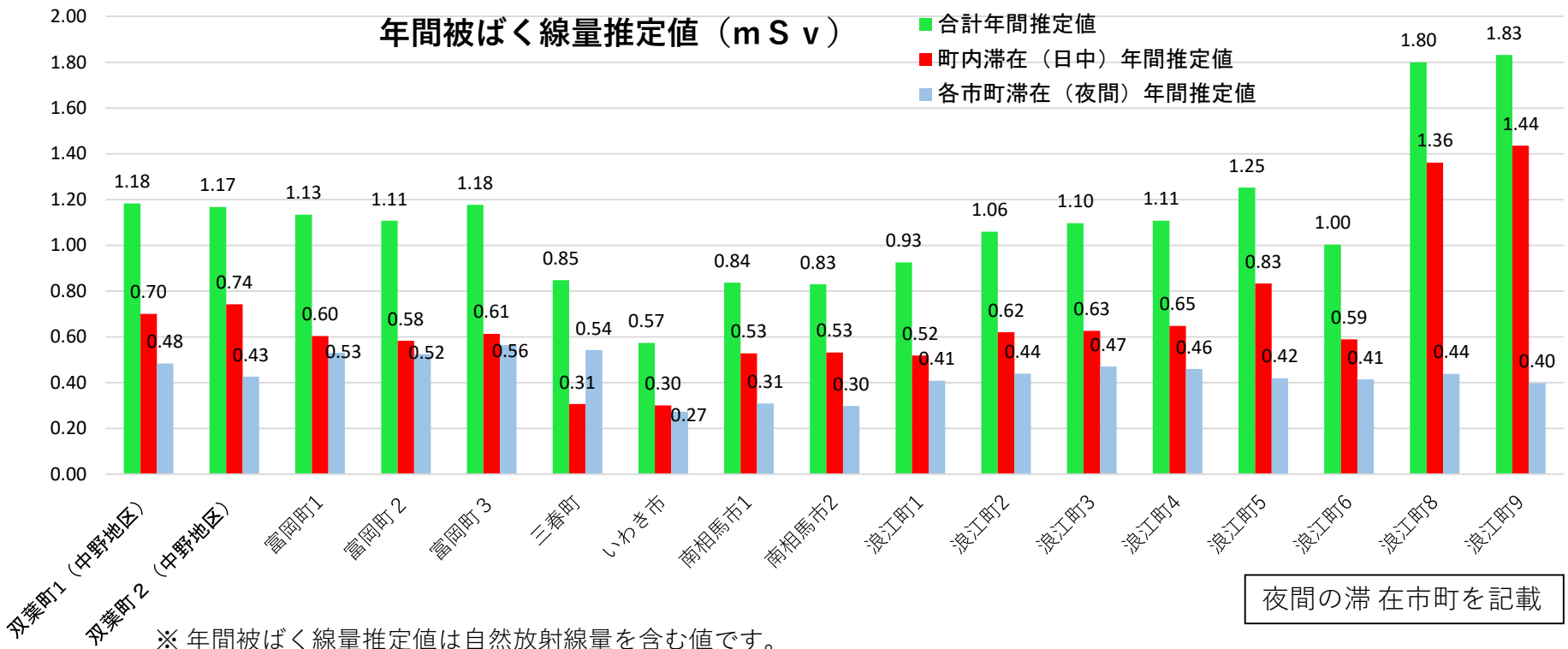


特定復興再生拠点区域における 空間線量率調査結果について

令和 3 年 7 月 2 9 日

Dシャトル測定による年間被ばく線量推定値について

- 町内での復興事業等従事者を対象にDシャトルにより6月の約1ヶ月間（土・日除く）の集積線量を集計し、年間被ばく線量推定値を算出しました。
- 行動パターンは、各市町から町内へ車で通勤し日中（町内に約9時間滞在）は特定復興再生拠点内の復興事業等に従事し夜間は各市町に滞在します。
- 双葉町1・2は日中は帰還困難区域内の作業も含まれています。
- 浪江町8・9（高瀬地区）は解体除染業務に従事し、作業エリアは大字長塚字谷沢町、字寺内迫地区等です。



※ 年間被ばく線量推定値は自然放射線量を含む値です。

※ 富岡町からの通勤者はR6を通行し一部帰還困難区域内を通るルートで通勤時間帯は夜間滞在に含めています。

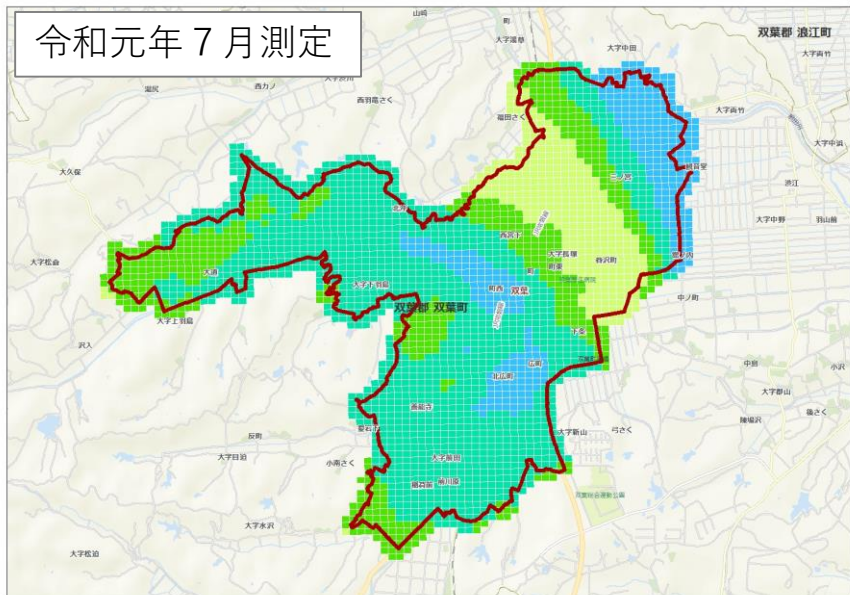
※ 三春町からの通勤者はR288を通行し一部帰還困難区域内を通るルートで通勤時間帯は夜間滞在に含めています。

※ 三春町、いわき市からの通勤者は駅コミュニティセンター連絡所での勤務です。

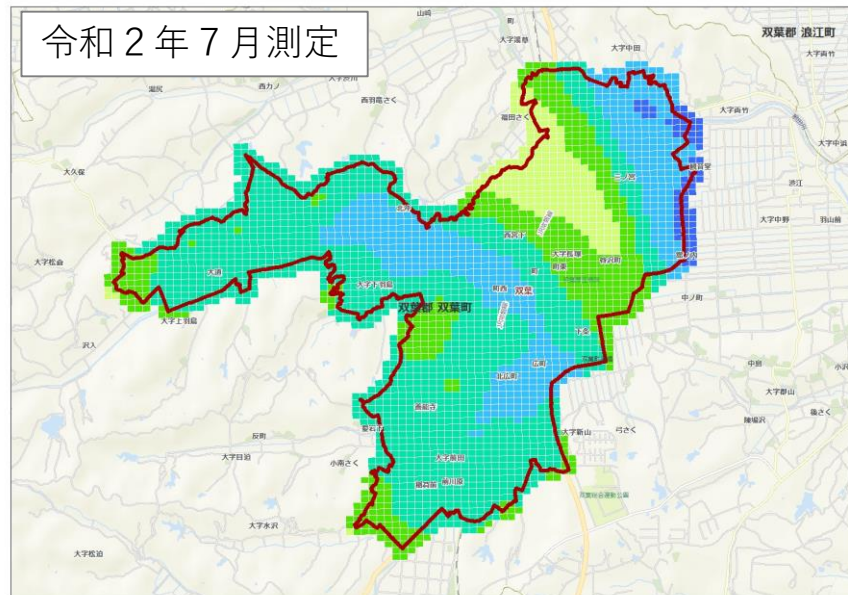
※ 端数処理により計算が合わない場合があります。

無人ヘリ測定結果（令和元年～令和3年）

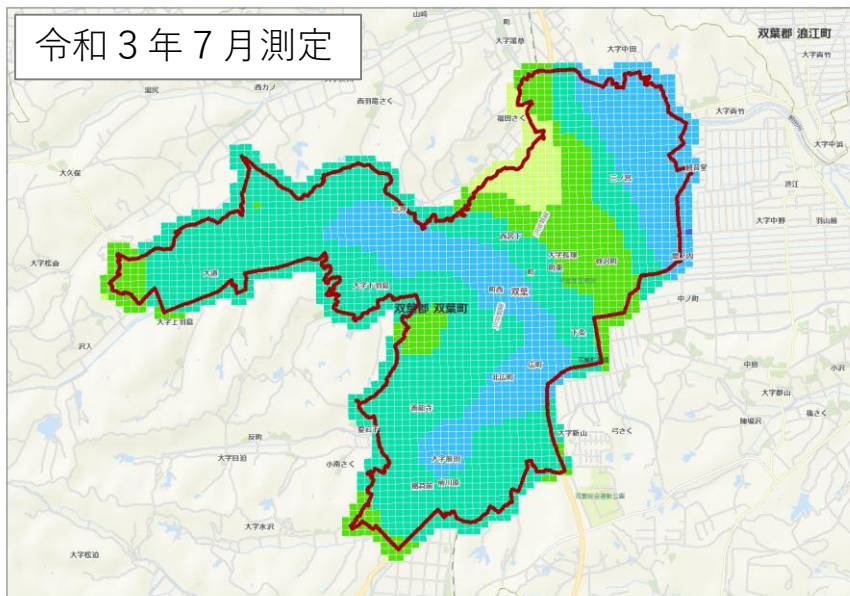
令和元年7月測定



令和2年7月測定



令和3年7月測定



凡例

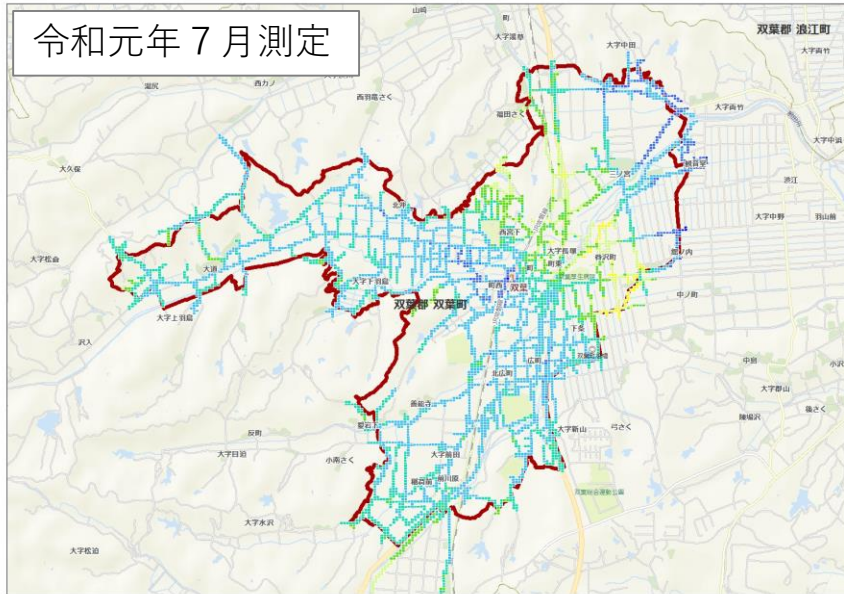
1mの高さの空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)

- 19.0より大きい
- 9.5より大きい19.0以下
- 3.8より大きい9.5以下
- 1.9より大きい3.8以下
- 1.0より大きい1.9以下
- 0.5より大きい1.0以下
- 0.2より大きい0.5以下
- 0.1より大きい0.2以下
- 0.1以下

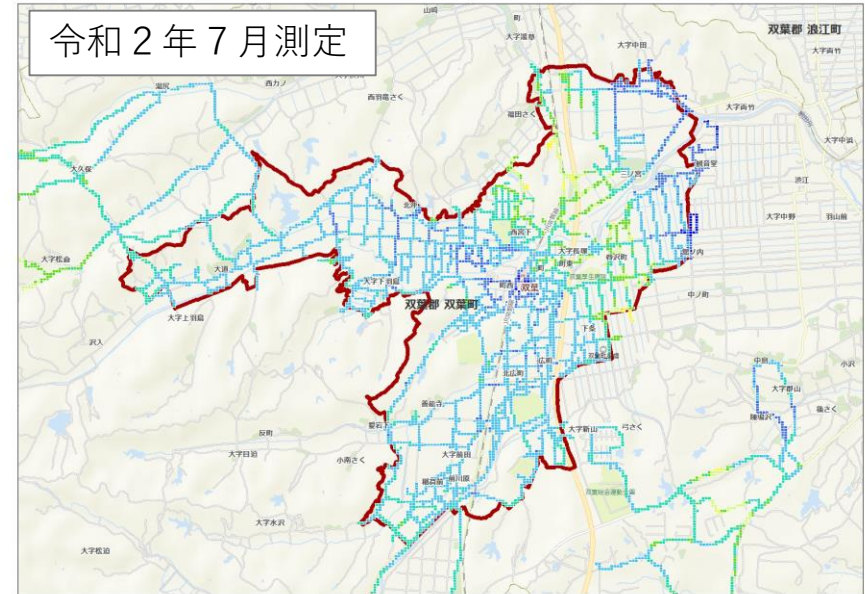
国立研究開発法人
日本原子力研究開
発機構が測定した
データを元に、双
葉町が作成。

歩行サーベイ測定結果（令和元年～令和3年）

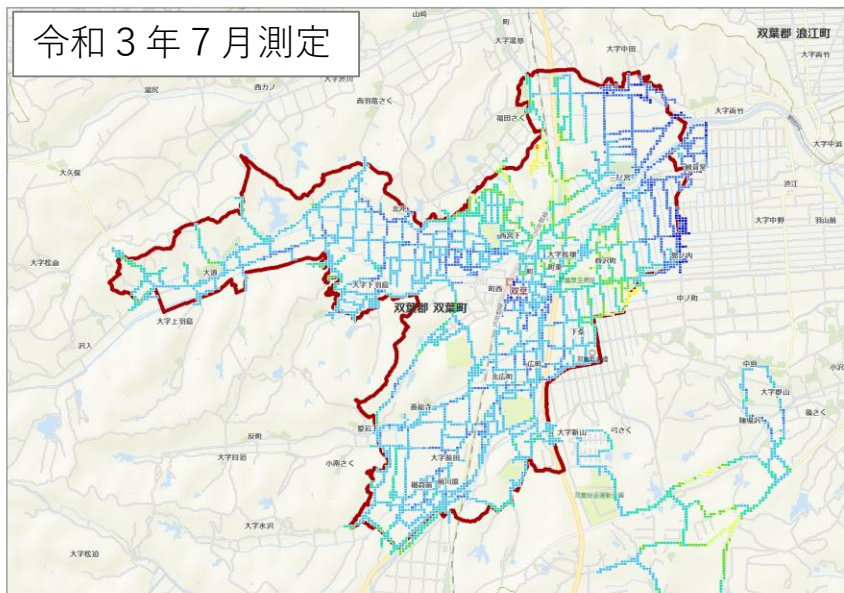
令和元年7月測定



令和2年7月測定



令和3年7月測定



凡例

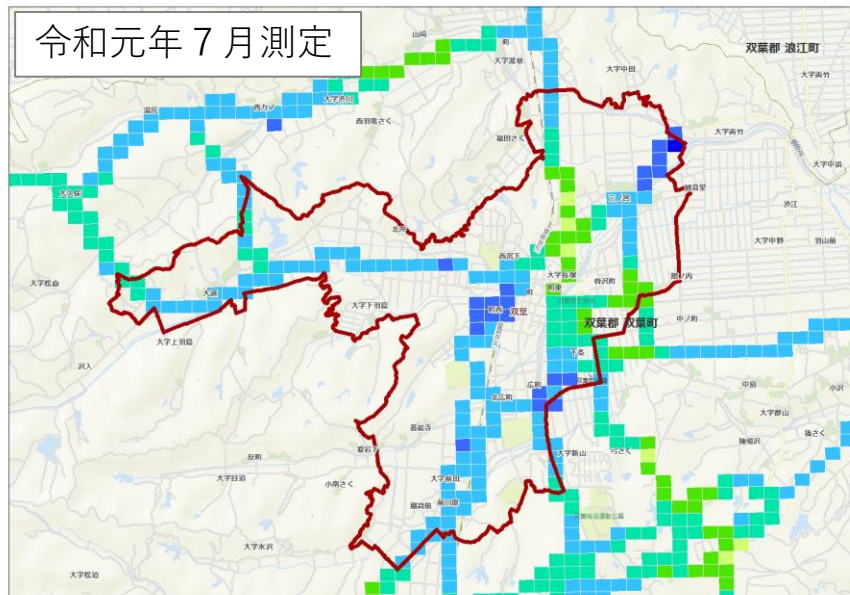
1mの高さの空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)

- 19.0より大きい
- 9.5より大きい19.0以下
- 3.8より大きい9.5以下
- 1.9より大きい3.8以下
- 1.0より大きい1.9以下
- 0.5より大きい1.0以下
- 0.2より大きい0.5以下
- 0.1より大きい0.2以下
- 0.1以下

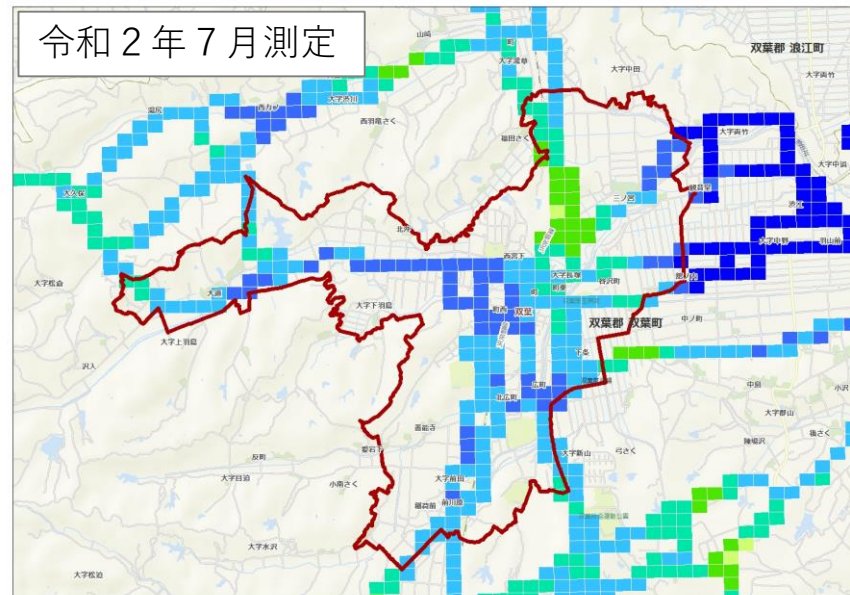
国立研究開発法人
日本原子力研究開
発機構が測定した
データを元に、双
葉町が作成。

走行サーベイ測定結果（令和元年～令和3年）

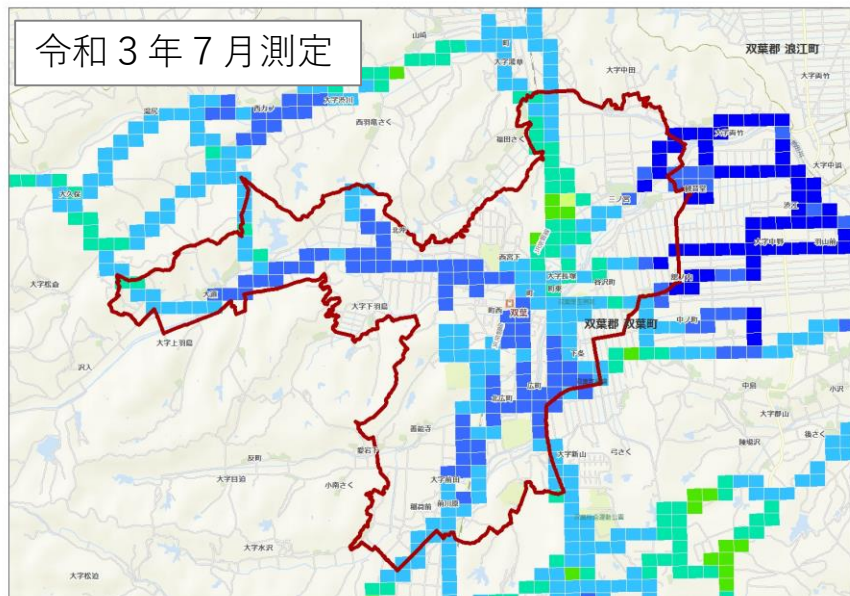
令和元年7月測定



令和2年7月測定



令和3年7月測定



凡例

1mの高さの空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)

- 19.0より大きい
- 9.5より大きい19.0以下
- 3.8より大きい9.5以下
- 1.9より大きい3.8以下
- 1.0より大きい1.9以下
- 0.5より大きい1.0以下
- 0.2より大きい0.5以下
- 0.1より大きい0.2以下
- 0.1以下

国立研究開発法人
 日本原子力研究開
 発機構が測定した
 データを元に、双
 葉町が作成。

家屋内の汚染状況を把握するため、公共施設内3箇所（新山公民館・長塚二公民館・図書館）の空間線量率と放射性物質濃度を測定しました。

【調査方法】

● 空間線量率

NaIシンチレーションサーベイメータで床からの高さ**1m**の空間線量率を測定した。
測定は**3回**繰り返し、平均値を測定結果とした。

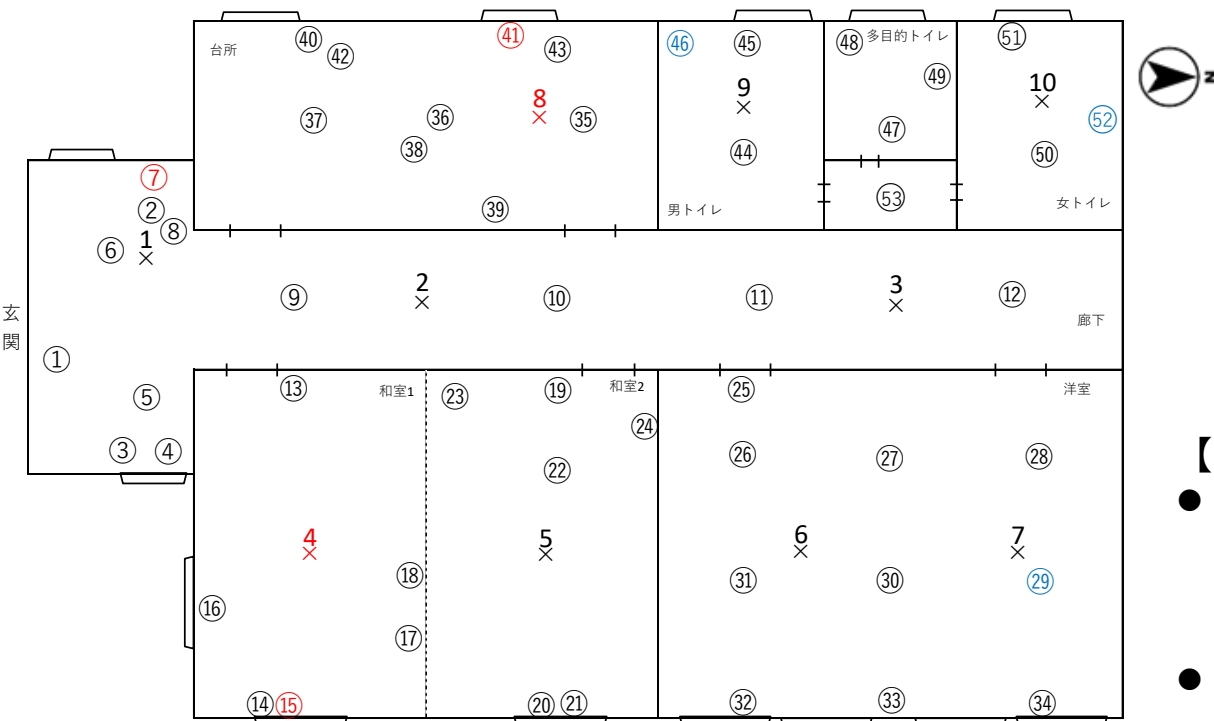
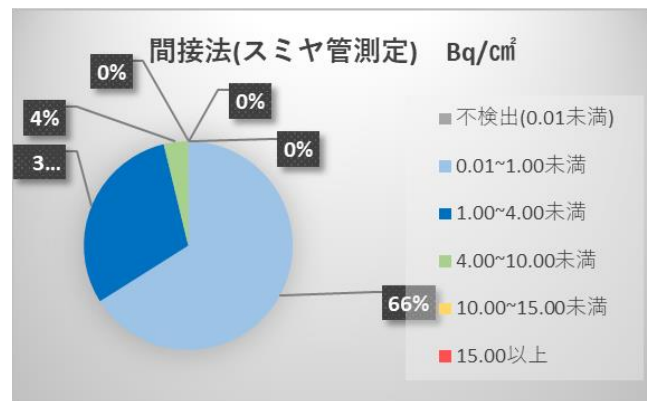
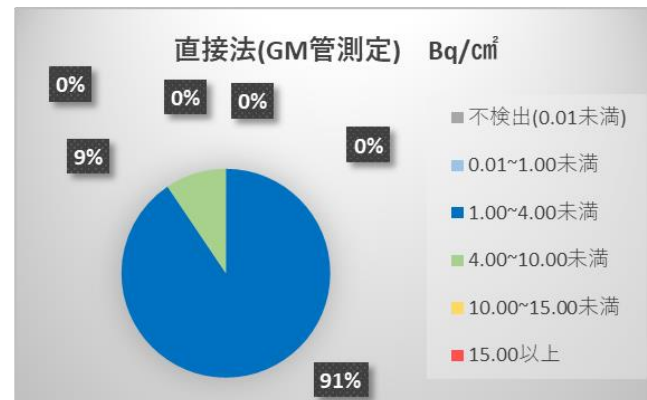
● 表面汚染密度

直接法と間接法で測定を行った。直接法は**GM**管サーベイメータで測定した。
測定時は**BG**を測定し（コリメート有）、測定値は**BG**を差し引いた。
間接法は家屋内の床等を採取面積が**100cm²**(採取が困難な場合は最大面積)になるようにスミヤ濾紙でふき取りした。スミヤ濾紙のふき取り効率は一律**10%**とし、測定日の検出値を報告値とし、スミヤ濾紙はガスフロー型計数装置で測定した。

測定場所	新山公民館（木造家屋平屋）			
測定日	令和3年5月11日（火） 天候：晴れ			
測定結果	空間線量率 0.23 ～ 0.28 $\mu\text{Sv/h}$			
	直接法 (GM管測定)	1.26	～ 8.68	Bq/cm^2 (※1)
	間接法 (スミヤ測定)	0.10	～ 6.1	Bq/cm^2 (※2)

※1 BGは 0.80Bq/cm^2 とする。検出限界値は 0.37Bq/cm^2 である。

※2 検出限界値は 0.02Bq/cm^2 である。



【図面の凡例について】

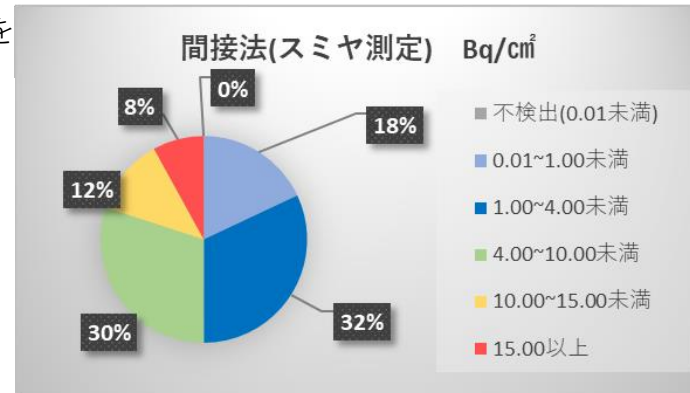
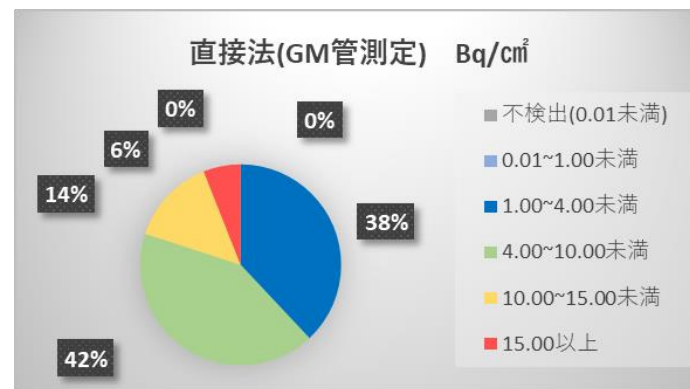
- (番号)：GM管式サーベイメータによる測定及びスミヤ濾紙による拭き取り実施箇所
(○:直接法で高かった各上位3箇所)
(○:間接法で高かった各上位3箇所)
- ×(番号)：空間線量率測定箇所
(×:空間線量率が最も高かった箇所)

測定場所	長塚二公民館（木造家屋平屋）			
測定日	令和3年5月11日（火） 天候：晴れ			
測定結果	空間線量率 0.41 ～ 0.50 $\mu\text{Sv/h}$			
	直接法 (GM管測定)	2.61	～ 21.3	Bq/cm^2 (※1)
	間接法 (スミヤ測定)	0.24	～ 42.0	Bq/cm^2 (※2)

※1 BGは 0.72Bq/cm^2 とする。検出限界値は 0.36Bq/cm^2 である。

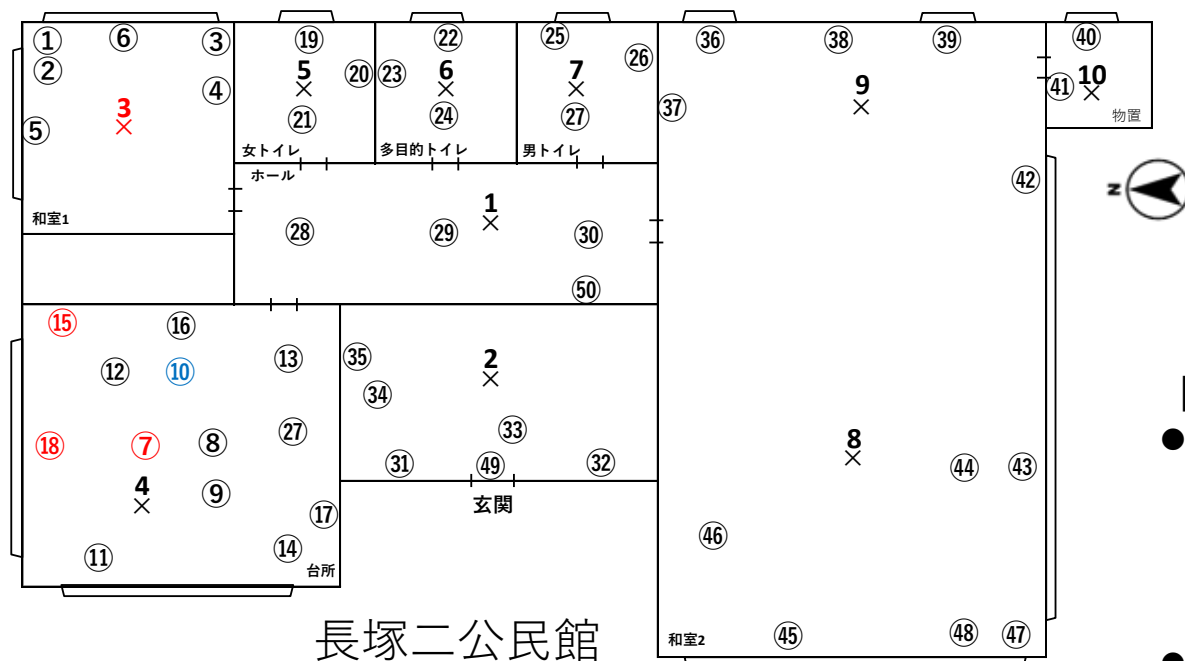
※2 検出限界値は 0.02Bq/cm^2 である。

⑮が 42.0Bq/cm^2 となっているが他は全て 26.0Bq/cm^2 以下となっている。油分等を拭き取ったと思われる。



【図面の凡例について】

- (番号) : GM管式サーベイメータによる測定及びスミヤ濾紙による拭き取り実施箇所
 (○:直接法で高かった各上位3箇所)
 (○:間接法で高かった各上位3箇所)
 ※⑮と⑱は各測定結果で各上位である。
- ×(番号) : 空間線量率測定箇所
 (×:空間線量率が最も高かった箇所)

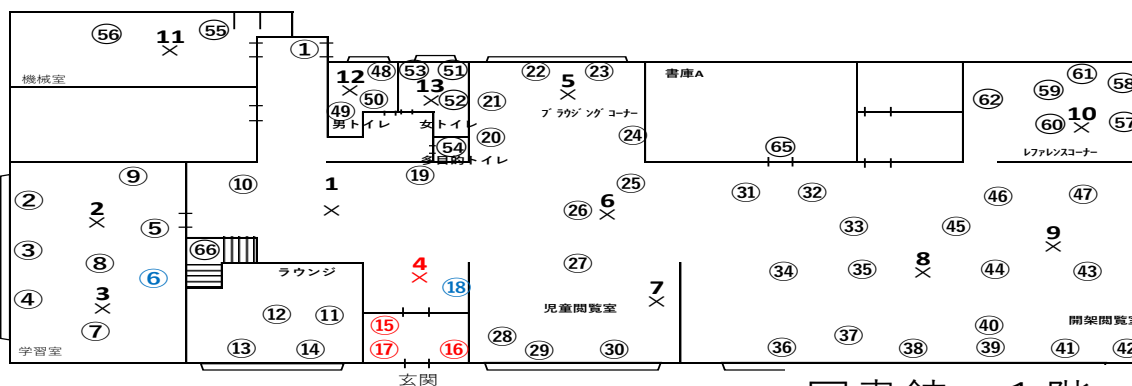
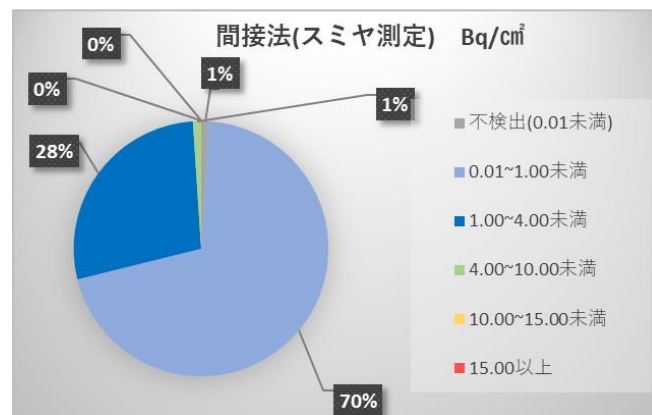
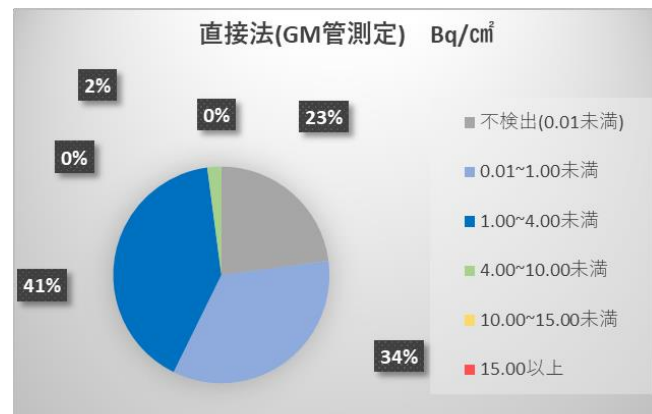


測定場所	町立図書館（鉄筋コンクリート2階建）		
測定日	令和3年5月12日（水） 天候：晴れ		
測定結果	空間線量率は、0.09 ～ 0.15 $\mu\text{Sv/h}$		
	直接法(GM管測定)	不検出 ～ 9.36	Bq/cm^2 (※1)
	間接法(スミヤ測定)	不検出 ～ 4.7	Bq/cm^2 (※2)

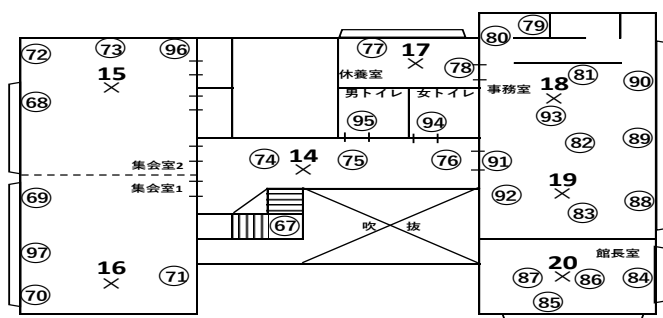
※1 BGは0.80 Bq/cm^2 とする。検出限界値は0.39 Bq/cm^2 であり、「不検出」は検出限界値未満を示す。

⑮⑯⑰の3箇所は、玄関のBGの影響により直接法が高い測定値となっている。

※2 検出限界値は0.02 Bq/cm^2 であり、「不検出」は検出限界値未満を示す。



図書館 1階



図書館 2階

【図面の凡例について】

- (番号)：GM管式サーベイメータによる測定及びスミヤ濾紙による拭き取り実施箇所
(○:直接法で高かった各上位3箇所)
(○:間接法で高かった各上位3箇所)
※⑯は各測定結果で各上位である。
- ×(番号)：空間線量率測定箇所
(×:空間線量率が最も高かった箇所)